

スリーハート

第 1 号 平成 27 年 4 月 20 日 (月) 発行

「自分がやらなければならないことを続けていく」ということを約束します!

見出しの言葉は、前ヤンキースのメジャーリーガー イチロー選手がマーリンズに移籍した時、入団会見で記者の質問に答えた話の一節です。その時の質問に答えた全文は以下の通りです。

(記者) : ファンの皆さんに、メッセージをお願いします。
(イチロー) : これは質問ではなく、お願いですね。そして僕が一番苦手としていることの1つです。少し考えます。新しい場所に行って、新しいユニホームを着てプレーすることに決めましたが、『これからも応援よろしくお願いします』とは僕は絶対に言いません。応援していただけるような選手であるために、自分がやらなければならないことを続けていく、ということをお約束して、それをメッセージとさせていただいてもよろしいでしょうか。

いかにもイチロー選手らしい逆説的な、思慮深く、そして、意欲に満ちた言葉だと思います。人生に対する真摯な姿勢、野球と向き合う真剣さは、子どもたちを指導していく上で学ぶべき多くのヒントがあると思います。



さて、平成 26 年度の私たち甚目寺西小学校教職員のスローガンは「打って出にゃ 待っどるだけじゃ あかんでえ」でした。このスローガンに込められた意気軒昂な気概をしっかりと持ちながら、平成 27 年度のスローガンは『「自分がやらなければならないことを続けていく」ということを約束します!』というイチロー選手の言葉にしたいと思います。ちょっと長ったらしい言葉になりますが、「思慮深さ、意欲、ひたむきさ、決意、姿勢、真剣さ、向上心」を感じる言葉だと思います。平成 27 年度は、この言葉に負けない教育活動を展開していきたいと思います。「打って出にゃ 待っどるだけじゃ あかんでえ」を乗り越え、甚目寺西小学校の子どもたちのために、職員一同心を一つにして「自分がやらなければならないことを続けていく」平成 27 年度にしていくことをお約束します。



きらりにしっこのちかい



- *わたしたちは、明るいあいさつ、元気な返事、正しい言葉づかいをします。
- *わたしたちは、きまりを守って生活します。
- *わたしたちは、友達にやさしくして、思いやりのある行動をします



甚目寺西小 入学式

— 新入生 50 名を迎え、活気が戻る学校 —

4月6日（月）

6年生が巣立っていき、ポッカリと穴がいたようだった甚目寺西小学校に新入生 50 名を迎え、活気が戻りました。6年生がしっかりと飾り付けてくれた入学式会場に、小学生としての第一歩を印した1年生の表情は、緊張しながら、『今日からがんばるぞ!』という気持ちに満ちあふれているようでした。

3日（金）には、新6年生が新入生を迎える準備をするため、掃除や会場設営、教室の飾り付けなど、一生懸命ががんばってくれました。入学式当日も、新入生を気遣いながらエスコートする6年生の姿を見て、素晴らしいスタートができたと感じました。『交流活動』を中心に据えた教育活動を展開している甚目寺西小学校ですが、今年度も、“人”との温かいかわりを大切にしながら様々な活動を通して、子どもたちが、互いを思いやることの大切さを学び取ってくれると信じています。



今か今かと入学生を待つ教室
-1年2組-



6年生が優しくエスコート
-新入生入場-



ひな壇に座って話を聞く1年生
-入学認定と校長式辞-



緊張の中にも和やかな雰囲気も
-教室での学級活動-



1年1組 26名



1年2組 24名